

# UNION PRESS

## 裁量労働制における「労働管理」問題

### 裁量労働制教員の残業代問題

先月、新聞各紙で島根大学における教職員への残業代九千万円の未払いについて報道されました。それによると、未払は「平成二十八年度九月〜昨年八月で、総合理工学部などの教職員の休日手当と深夜手当。大学側は健康管理を目的とした調査で勤務状況を把握していたが、教職員自身の研究などによる休日・深夜の勤務は「職務以外の目的」として扱っていたことが原因」(産経新聞)とのこと。

本件については、大学関係者を中心にネット等でも様々な意見が飛び交っています。残業代の未払いはあってはならないことであるという意見の一方、裁量労働における残業とは何かということ、教育活動、研究活動はどこからどこまでを業務とするという区切りをつけられるのか、などが広く議論されています。

### 勤務状況等申告書の変更とその影響

実際に島大ではこれにより、勤務に制限がかかる事態が起きる等、混乱が続いているそうです。本学でも今年4月より勤務状況等申告書の様式が変更されました。これは労働安全衛生法の改正に伴うことで、裁量労働従事者の健康と福祉の確保を目的

としたものですが、これらが却って働きにくさや負担になっているケースも見受けられるようです。組合ではこの問題を注視し、改善へとつなげていきたいと考えています。皆さんが各部署で起きている不都合などありましたら組合までお知らせ下さい。

### 二〇一九年度教職員組合の体制が決まりました

今年度の教職員組合の執行委員および特別執行委員、代議員が決まりました。昨今の国立大学改革の流れの中で、大学で働く人々への影響も大きくなっています。また、本学では今年秋、学長選挙があります。教職員組合としても、この難しい局面をより良い形で乗り切れるよう、一丸となって頑張っていきたいと思えます。



◎執行委員・特別執行委員

委員長 渉外	飛田 明彦	教育学部
書記長 事務総括	渋谷 百代	経済学部
副委員長 渉外	北田 佳子	教育学部
副委員長 財務・広報・教文	野村 奈央	教養学部
執行委員 広報・教文・PC・HP/ユニオン	七田 麻美子	基盤教育研究センター
執行委員 非常勤職員部会	浅子 孝一	教育学部・非常勤
特別執行委員	金房 広幸	経済学部
特別執行委員	上野 茂昭	教育学部
特別執行委員 過半数代表	佐藤 清美	技術(常勤)
埼教組担当	馬場 久志	教育学部
埼教組担当	田代 美江子	教育学部
書記・共済関係	寺田 礼子	組合事務局

◎代議員

選出部局	氏名	所属
教養学部	小野寺 史郎	教養学部
教育学部/選挙副委員長	関 由起子	教育学部
教育学部	高橋 雅也	教育学部
経済学部	大津 唯	経済学部
理工・技術・教育機構・他全教職員	加藤 有希子	基盤教育研究センター
非常勤/★選挙管理委員長	平泉 春美	教育：非常勤

## 特別インタビュー

### 〈前委員長に聞く〉「対話の重要性」

「国立大学改革」に関する政策の変遷は、働く人を疲弊させる側面が否定できず、その影響は学生の教育にも及んでいると言っているでしょう。こうした中、昨年度も教職員組合は、より良い労働環境を目指し努力を重ね、その結果、地域手当の0.1%の遡及支給、勤勉手当の増額、非常勤職員（有期雇用契約者）の雇止め廃止等様々な成果を収めました。今号ではこうした活動をけん引した、前年度委員長の田代美江子氏にお話を伺いました。お話の中で見えてきたのは、分断を超える対話の力でした。

・本日は、お忙しい中ありがとうございます。まず、委員長をなさった感想などお聞きしたいと思います。

(田) 前回委員をしたときが（二〇一四年）、給料カット問題などすごく大変な時期で、その時沢山のことを勉強したんです。今回その時の経験が生きたかなと思っています。なによりもメンバーに恵まれました。すごく助けられましたし、「ゆかいな仲間たち」でした。

・委員長として活動なさって感じた課題点などありますか。

(田) 組織率の低さを何とかしないかというのがあります。日本全体の問題で、労働者の権利の意識が低いのもありますが、労働組合が「戦う組織」であるというイメージが強く、忌避されるというののも理解できます。私は、対立とか戦うのは違うのではないかと思っています。大学は「全員労働者」の組織なので、例えば組合が交渉する相手も当然労働環境が良くなるのは嬉しいことなわけです。相手をやり込めるといって、皆にとつていい道が何かを考える、「対話」が重要だったと思います、一番大切にしたい、そしてそれによっていろいろ上手くいった（右記参照）というのがあります。

・委員長から見た、埼玉大学の課題というのは何でしょう。

(田) 大学改革の流れの中で、私たちの教育・研究の環境も大きな変化を強いられています。例えば学部を超えてそれぞれが抱えている課題を共有し皆で考える場がないということかなと思います。大学教育のあり方を理想主義的にでも議論する場がないのは良くないなと思っています。組合はそういう役目を担えるということもあると思います。例えば学長選などを契機に、どんな大学を作っていくかなど話し合うのもいいと思います。

・最後に今後の組合に期待することは何ですか。

(田) 組合はまず存続することが大事。その上で人と人のネットワークをつないでいくという役割を果たしていくということかなと思います。いつもはゆるく、何かあったとき機能するという感じがいいのかなと思います。

・大変貴重なお話し、ありがとうございます。

#### ☆ 今後のイベント情報 ☆ (皆さまの参加をお待ちしております)

◇ 8月2日 教職員組合「交流会&暑気払い」(@バル・メリンの森)

◇ 初冬頃 寄せ植え体験会 (@大久保農場)

※ その他、学長選に伴う公開質問会等も予定しています。新しい企画が決まり次第お知らせをしていきますのでどうぞご期待ください。



## 埼玉大学教職員組合

〒338-0825 さいたま市桜区下大久保 255 第2生協1階

E-mail : saikyoso@gr.saitama-u.ac.jp URL : <http://kumiai.client.jp/>

電話/FAX : 048-853-5609 (内線) 3160